



# Dai I NAIKA News

令和2年9月3日

**三重大学病院**  
総合内科、循環器内科  
消化器・肝臓内科、腎臓内科  
広報紙【第24号】

発行 / 三重大学医学部第一内科  
〒514-8507 津市江戸橋2-174  
TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201  
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/index.html>

## 三重大学大学院循環器・腎臓内科学 教授就任のご挨拶



循環器・腎臓内科学 教授 土肥

この度、令和2年7月1日付けで三重大学大学院 循環器・腎臓内科学 教授を拝命しました平成6年卒の土肥 薫と申します。歴代の第一内科教授 橋本正之先生、遠山 豪先生、高崎 浩先生、竹澤英郎先生、中野 赳先生、伊藤正明先生からバトンを託していただ

いたことを、大変誇りに思うと同時に身の引き締まる思いでございます。長年にわたり先輩方が作り上げてこられた歴史と伝統を大事にし、第一内科の名に恥じぬよう、日々精進して参ります。

私は、中野 赳名誉教授の時代から教授室に掲げられている書額「真理の探究と人材の育成」を毎日仰ぎ見ながら過ごしております。この基本理念に基づいて研究・診療・教育体制を更に強化させていきたいと考えております。研究に関しましては、オール三重で行っております三重 ACS レジストリー研究の成功を足掛かりに、全国的な多施設共同研究の主導を目指していきたいと考えております。また、臨床研究の成果や課題を基礎研究で解明するリバーストランスレーショナル・リサーチを促進させたいと考えております。

診療においては、専門化・細分化・分業化が進んだ現代においてこそ、全身を診ることに重点を置く第一内科の伝統を継承し、総合内科をベースとした専門医の育成、更にはチーム医療の推進に力を入れます。さらに、子育て世代の医師が家庭を大事にしながら医療者として順調にキャリアアップできるシステム作りにも取り組んでいきます。

第一内科では、伊藤正明前教授の号令のもと、若手医

師に対し英文症例報告の執筆を積極的に指導してきました。三重大学病院では上級医が若手を丁寧に指導する習慣が根付き、最近では Circulation や European Heart Journal といったインパクトファクターが高い雑誌に掲載されることも増えております。このような教育に対する取り組みを関連病院にも広げていきたいと考えております。今後、診療・研究領域はますます多様化すると予想されますが、若手医師が「挑戦する行動力」をもって未知の分野にいち早く取り組み、「やり抜く力」で大きな成果を上げることができるよう、全力でサポートしたいと思います。

同門の先生方の日頃のご尽力のおかげで、新規入局者はこの5年間で急激に増えております。今後もこれまで以上に県内の医師不足地域への人的貢献が十分に出来るような体制を構築し、かつ希望者がスムーズに海外留学や国内トップレベルの施設への研修をすることができるよう尽力いたします。各御施設の先生方におかれましては、今後も三重県愛にあふれた若手医師を積極的に勧誘していただきますよう、何卒お願い申し上げます。コロナ禍を契機に、医療者への感謝の声が多く集まる一方で、我々の医療活動のみならず日常の行動に対しても、これまでよりさらに厳しい視線が注がれております。このような状況であっても、研究・診療・教育活動が委縮しないよう、第一内科教室として先生方に明るい未来を提示できるよう様々な取り組みをしていきたいと思っております。オンラインを活用した勉強会や症例検討会、更にはオンラインでのハンズオンセミナーを推進し、遠隔診療にも取り組んで行きます。同門の先生方におかれましては、日頃から多大なるご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。今後とも一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 新病棟医長ご挨拶

2020年10月より前任の森脇医師より病棟医長を引きつぎます香川芳彦と申します。

2001年広島大学卒業後、2012年に三重大学第一内科に途中入局をし、県内で循環器診療を行いました。現在、大学病院で不整脈診療に従事しています。診療、研究、教育と大学病院の果たすべき役割は非常に大きく、病棟医長の就任について身の引き締まる思いでございます。2020年始めからの新型肺炎は猛威をふるい、人々の健康のみならず、生活や環境などに多大な影響をおよぼして

います。ウィルスに負けないように団結して戦って行きたいと思っております。不慣れな部分も多々あり、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



循環器内科 助教

香川 芳彦

# ワンポイント☆レクチャー 「インペラについて」

インペラ (IMPELLA) とは、小型の補助循環ポンプカテーテルで、2017 年 9 月から日本にも導入されました。経皮的に左室内に挿入し、小型のポンプによって左室内の血液を上行大動脈へ送り出すことで循環を補助します。心臓の拍出と順行性の補助によって、左室内の負荷をさげ (Unloading)、酸素消費量もさげられるため、循環補助デバイスとしてだけでなく治療デバイスとしても期待されております。現在 IMPELLA 2.5、-CP、-5.0 の 3 種類のデバイスが使用でき、補助流量 (最大 5.0 L/min)、使用期間 (5~10 日)、侵襲度 (経皮的 or カットダウン) などによって選択します。また、ECMO と併用 (通称: ECPPELLA) することで、ECMO による後負荷の増大を相殺しながら、両デバイスを合わ



循環器内科 助教  
森脇 啓至

せた高流量での補助が可能となります。

三重県内では、現在当院と伊勢赤十字病院のみで使用が可能です。当院では、これまで 22 例 (急性心筋梗塞 9 例、PCI 中の shock4 例、劇症型心筋炎 3 例、心臓手術後 2 例、心室中隔穿孔 1 例など) に使用しております。13 例が ECMO を併用し、11 例が心停止を伴っている重症症例が多い中、20 例で補助を離脱でき、14 例が離脱後 30 日生存を得られております。三重 ACS レジストリのデータと比較しても、急性期の生命予後改善に対して、一定の効果を得られている印象を持ちます。しかしながら、溶血、脳卒中、下肢虚血などの合併症も認め、管理の面でもう少し Brush up が必要と考えます。

海外では右室補助に特化した IMPELLA RP も使用でき、また “door to unload” として、AMI 症例に対して PCI 前に IMPELLA 挿入する臨床試験も進行中です。今後も治療の選択肢が広がる中で、最適な治療を模索していきたいと考えております。

## 医師紹介 循環器内科 廣田 有美



平成 30 年卒で、今年 4 月から三重大学病院で循環器内科医として勤務させていただいております、廣田有美と申します。私は三重大学卒業後、三重大学医学部附属病院を基盤として県内外の市中病院で初期研修を行いました。16 歳での親友の突然心停止を機に循環器内科の道を志すようになり、現在も心停止の原因精査をはじめ、虚血分野やデバイス治療などに興味を持っています。今後とも何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

### 第一内科 外来担当医表

|     |    | 月                                                                  | 火                                           | 水                    | 木                            | 金                            |
|-----|----|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------|------------------------------|------------------------------|
| 総合  | 初診 | 山本憲彦                                                               | 杉浦英美喜                                       | 岡本隆二                 |                              |                              |
|     | 再診 |                                                                    |                                             | 岡本隆二                 |                              |                              |
| 循環器 | 初診 | 土肥 薫<br>伊藤正明<br>栗田泰郎                                               | 藤本直紀<br>杉本匡史                                | 伊藤弘将<br>岡本隆二<br>藤田 聡 | 香川芳彦                         | 石浦純子<br>荻原義人<br>中森史朗         |
|     | 再診 | 伊藤正明<br>福岡智之<br>栗田泰郎<br>森脇啓至<br>岡本隆二<br>高崎亮宏<br>藤本直紀<br>デバイス<br>外来 | 荻原義人<br>土肥 薫<br>石浦純子<br>佐藤 圭<br>腫瘍循環器<br>外来 | 岡本隆二                 | 杉浦英美喜<br>香川芳彦<br>腫瘍循環器<br>外来 | 荻原義人<br>藤田 聡<br>杉本匡史<br>佐藤 徹 |
| 腎臓  | 初診 | (休診)                                                               | 村田智博                                        | 村田智博                 | 片山 鑑                         | (休診)                         |
|     | 再診 | 片山 鑑<br>藤本美香                                                       | 平林陽介                                        | 齋木良介                 |                              | 村田智博                         |
| 消化器 | 初診 | 小倉 英                                                               |                                             |                      | 爲田雅彦                         |                              |
|     | 再診 | 爲田雅彦<br>小倉 英<br>杉本和史                                               |                                             | 山本憲彦                 | 小倉 英<br>杉本和史                 |                              |

デバイス外来:第1、2、3月曜  
成人先天性心疾患外来:金曜(荻原)

### 循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先 (直通)

内科外来: 059-231-5146

病棟: 059-231-5101

FAX: 059-231-5518

研究棟: 059-231-5015

患者様の紹介、相談にご活用ください。  
本機関誌に関するご意見、ご質問は下記  
メールアドレス、または当科 HP まで。

naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp



### ●第一内科ホームページ

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/>

### 三重大学病院循環器内科、腎臓内科

～患者様をご紹介ください～

#### 1. FAX 新患予約

「診療予約申込書」(三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可)に必要事項を御記入の上、FAX059-231-5541 に送信してください。15 分以内に折り返し FAX で診療予約の回答をさせていただきます。

#### 2. 緊急受診、ご相談等

下記、循環器内科、腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。

病棟主任が直接対応させていただきます。